

## 横浜北西線立替施行の支払い負担の軽減について

### 1 概要

横浜北西線事業では、立替施行を導入して事業費の平準化を図ったことから、令和 6 年度までに 463 億円の事業費が必要となります。

この支払い負担を軽減するため、有料道路事業の債務返済計画の見直しによる新たな投資余力を活用して、横浜北西線の道路財産の一部を首都高速道路株式会社（以下、「首都高」という。）に売却することについて、首都高と調整を進めてきました（令和 2 年第 4 回市会定例会の本常任委員会にて報告）。

この度、本件売払いについて、概要がまとまりましたので、ご報告いたします。

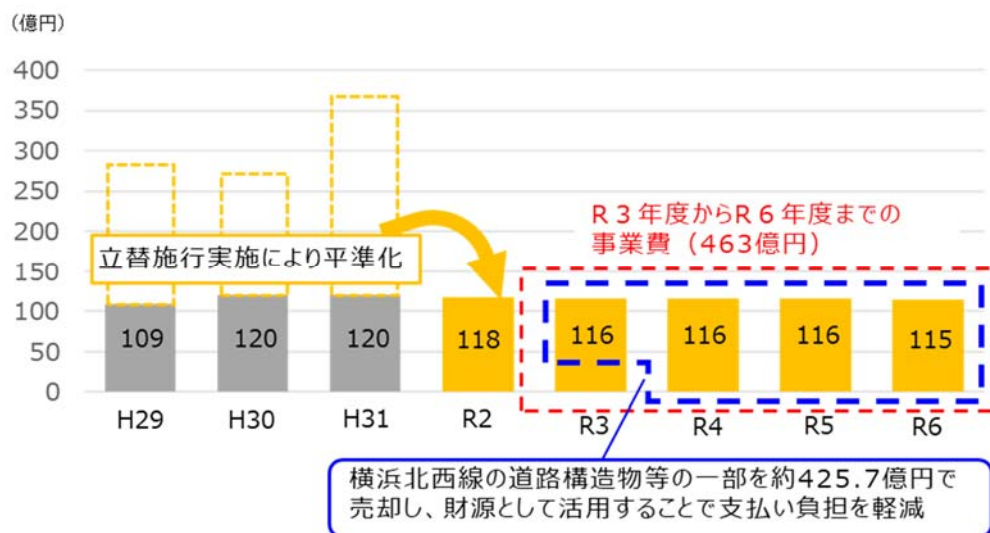


図 1 支払い負担の軽減イメージ

### 2 売払いの概要

- (1) 売払い予定者 首都高速道路株式会社
- (2) 売払い財産
 

道路構造物	トンネル躯体 (約 2.2km) 等	一式
道路設備	換気設備、非常用設備 等	一式
- (3) 売払い金額 約 425.7 億円

### 3 今後の予定

令和 3 年 9 月末 仮契約  
市会第 4 回定例会 財産処分議案

裏面あり

(参考) 売払い財産の概要



売払いの対象 (赤字部分)

